

東京都町田市の多摩丘陵に広がる「町田山崎団地」。起

伏に富んだ広大な敷地には総戸数約4000戸を有する住棟がゆったりと並び、大きなグラウンドや緑豊かな自然公園のある環境も大きな魅力になっている。

2015年、この豊かな環境を生かして始まったのが、「防災」をメインテーマとした地域参加型のイベント「DANCHI Caravan」だ。『もしも』に備える知識や心構えについて楽しく学べたら、と団地を管理するUR都市機構と地元の方々が共創。防災をテーマにしながらも決して堅苦しくなく、団地の広場にテントを張って防災時を想定した宿泊体験をする「団地deキャンプ」や、防災用のかまどベンチを使ったポップコーンづくりなど、食べて・動いて・学べる催しが盛りだくさん。10周年に当たる2025年は、「わたしの備え、ものために。」と題して、3月8日・



阿部民子 text by Tamiko Abe

Illustration by Shigeyuki Sakata

9日に開催。あいにくの雪にもかかわらず、約1600人が来場して、大いに盛り上がった。

○若手職員有志が企画・運営

「DANCHI Caravan」を企画・運営しているのは、URの若手職員有志グループ、ABC-Projectのメンバーだ。ABCとは、Across(超える)、Boundaries(境界)、Challenge(挑戦)の略。年代、職種、所属、また民間企業などとの垣根を越えた連携・協働、URの認知度向上などを目的のプロジェクト活動を行っている。設立の経緯を、立ち上げ時の事務局を務め、現在も顧問を務める坂田辰

防災をテーマに団地と地域職員同士の絆を強める

東京都町田市 町田山崎団地
DANCHI Caravan
2015年●平成27年～

が出た直後だったため、規模の大きな運営協力企業や団体が決まっていたにもかかわらず、コアメンバーが悩みに悩んだ末に中止の決断を下した。「苦渋の決断でしたが、今としては英断だったと思います。その後、団地夏祭りに合わせて再開したときに、自治会さんや



上／かまどベンチを実際に使用して体験する。
右／町田山崎団地で3月に行われたイベント「DANCHI Caravan」で雪が降るという過酷な状況の中、テントで一夜を過ごした。

名店会さんから『久しぶりにやれて、本当によかった』との声をいただき、待つてくださったという感慨深かったです」と所は振り返る。

○10年の積み重ねを次に繋ぐ

現在、「DANCHI Caravan」は、団地自治会や名店会のほか、町田市や隣接する桜美林大学、無印良品や全国3拠点でキャンプ場を運営する良品計画など、40を超える公的機関や民間企業、教育機関などと連携、協力。ABCが手がけるイベントも、みさとや左近山、花見川など他の団地にも広がっている。

昨年度のイベント統括を務めた井尻俊介は「諸先輩からのバトンを引き継ぐという思いで走ってきました。10周年である今年は、鏡開きなどのセレモニーや桜美林大学さんのイベント動画作成のほか、自治会さんや名店会さん、出店者さんと『どうしたら、イベントや団地がよりよくなるか』といったトークセッションも開催。初日はあいにくの大雪でしたが、宿泊体験の方々もあえてテント宿泊を希望されるなど、本

男に聞いた。

「プロジェクトの前身は、2014年の『若い職員に、何か面白いことをやらせては』という声かけで始まった『若手チャレンジプロジェクト』です。東日本大震災の3年後ということもあり、『団地内で防災意識を高めるためにテントを張り、キャンプをやりたい』という声があり、『DANCHI Caravan』のきっかけになりました」

当時のリーダーで、現在もプロジェクト相談役を務める所芳昭は「UR賃貸住宅の魅力の一つは、屋外空間の豊かさです。我々がそれをちゃんと活用していかなければもったいないし、団地住民だけでなく地域の方々にも発信する必要がある。そこで、屋外空間を活用しつつ、自分ゴトになれるテーマは何かを考え、防災を絡めたコンテンツに思い至りました」と話す。

活動から10年の間には、さまざまな困難もあったという。最大の危機は、コロナ禍によるイベント中止だ。2020年に予定していたキャラバンの実施日は3月。日本初の感染者

質的な意味での防災を意識することにもなり、有意義なイベントになりました」と話す。

今年度の代表を引き継ぐ入社2年目の波多親は「10年の積み重ねがあつてこそこのイベントというのを身近で見たので、この良さは絶対崩さずに、さらにプラスする意気込みでいます。現在は団地外からの参加者もすごく多いのですが、逆に団地居住者により多く参加していただく工夫を考えていきたい」と意欲を語る。

「プロジェクトを通じて、団地や地域の方々との繋がりが職員同士の絆が生まれ、民間企業の考えを学ぶこともできる。経験者はURを支える人材に育っていますし、今後はOB・OGが活躍するステップができれば」という坂田。

団地とまちの安全と暮らしを守り、若手育成の場として、『DANCHI Caravan』はこれからも貴重な場であり続けることだろう。

街に、ルネサンス



UR都市機構

【企画制作】新潮社